

8/9

新たな取り組みも ふれあい夜市



町内の若者たちが力を合わせてつくる「土曜ふれあい夜市」が、今年も開催されました。主催の商工会青年部をはじめ、日南病院や役場職員のほか町内の若者が集結し、新たに結成されたシン青年団も参加。町内外の音楽団体やパフォーマーを招いたステージを開催。あいにくの雨で出演団体は減りましたが、奥出雲町の「横田の杜ブラスアンサンブル」や、司会をしながらバルーンアート^{はかむら}を披露した仲村ちいなさんの登場で、会場は大いに盛り上がりしました。

8/1

クレパス誕生100周年 クレパス画[®]展



今年で誕生100周年を迎えた「クレパス」を使った作品約190点を紹介する企画展を開催しています。サクラクレパス創業者・佐武林蔵氏が豊栄出身というご縁から、町でもクレパスをたびたび取り上げています。初日にはサクラアートミュージアムの清水靖子主任学芸員による作品解説もあり、前後期に亘る大規模な展示は、100周年にふさわしい内容となっています。後期は9月12日から。世代を超えて愛される画材の魅力^{しみず やすこ}を再発見できる貴重な機会です。

8/20

デフリンピック キャラバンカー来町



聴覚に障がいのある選手が競う国際的なスポーツ大会「東京2025デフリンピック」を広く知ってもらうため、県内を巡るキャラバンカーが日南町を訪れました。デフリンピックは聴覚に障がいのある選手が様々な種目で技を競う大会です。役場交流ホールには職員や園児ら約50人が参加。園児たちは手話で「デフリンピックがんばれ」と応援しました。鳥取県からは4人が出場予定で、大会は11月15日から26日に開催されます。

8/11

中原副知事 決意表明の 日南トマト[®]味わう



昨年に引き続き日南トマト[®]試食会が開かれ、生産者や関係者が一堂に会し、自慢のトマトを味わいながら品質の高さを確かめ合いました。会の中では岩田^{いわだ}部長が3年連続2億円の売上達成に向けて力強く決意を表明。さらに今年度は中原副知事に試食していただき、爽やかな甘みとしっかりとした味わいに高い評価をいただきました。会場は活気に満ち、産地全体の士気も一層高まり、今後の展開にも期待が寄せられました。

